

# 地域経済の「見える化」に向けた取組

地方版総合戦略の推進による地方創生の実現



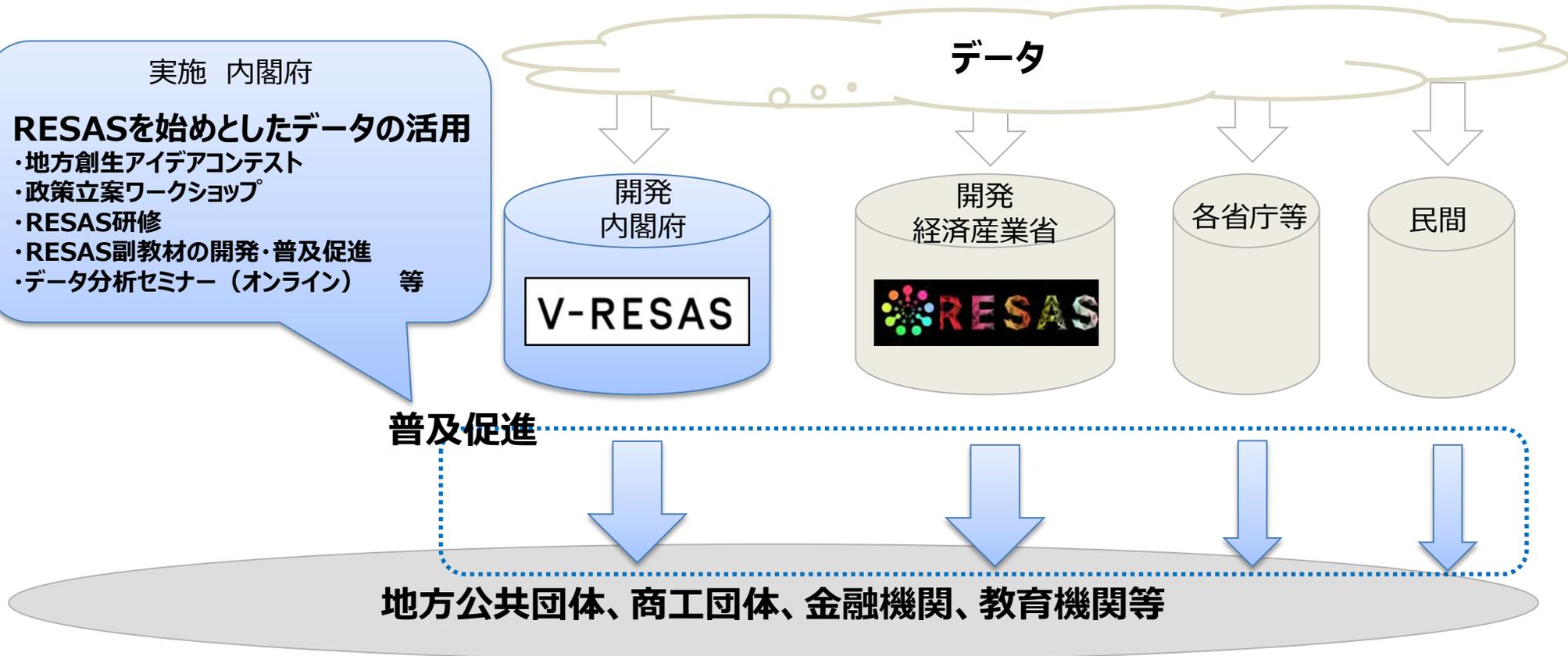
令和3年6月

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣府 地方創生推進室

# 1. 概要

- 内閣府はデータに基づく地方創生の取組を支援。RESASを始めとする官庁・民間データの活用を促進し、地方公共団体の政策立案等につなげる。商工団体、金融機関、教育機関等にも活用が広がる。
- コロナ禍における緊急的な情報支援として、令和2年度はV-RESASの開発に取り組んだ。



# 予算

- データの活用促進、普及広報による地方創生の取組（119百万円）。
- コロナ禍における情報支援としてV-RESASを開発、令和2年6月提供（1,409百万円）。

## 令和2年度予算額

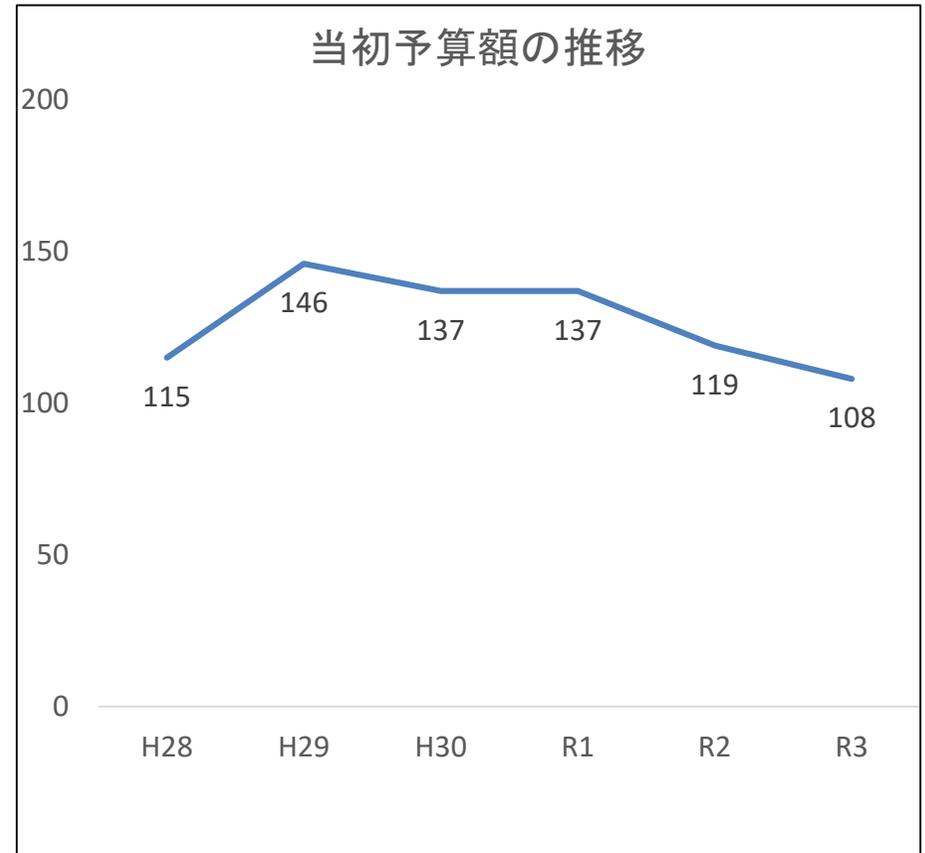
- 令和2年度補正後の予算は1,517百万円。  
うち、補正予算額、繰越額は以下のとおり

| 令和2年度                         | 予算額<br>(百万円) |
|-------------------------------|--------------|
| 当初予算額<br>(RESAS等データ活用の普及広報)   | 119          |
| 第1次補正予算額<br>(V-RESAS開発・運用)    | 759          |
| 第3次補正予算額(※)<br>(V-RESAS開発・運用) | 650          |
| 減額補正                          | ▲11          |
| 計                             | 1,517        |

※ 第3次補正 650百万円は令和3年度へ繰越。

## 当初予算額の推移

- 当初予算額は、減少傾向。



# 地域経済分析システム（RESAS）による地方版総合戦略支援事業（内閣府地方創生推進室）

（令和2年度当初予算額 1.19億円）

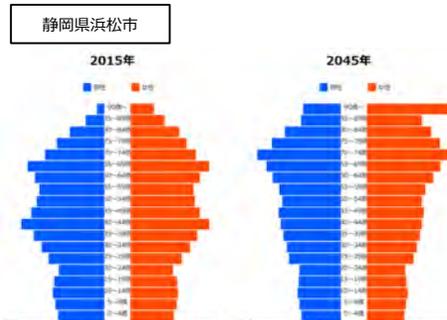
## 事業概要・目的

- 地方公共団体による地方版総合戦略の策定や様々な主体による地方創生の推進に向けた取組等を情報面から支援するため、地域経済分析システム（RESAS）を提供しています。これは、地域経済に関する官民の様々なデータを地図やグラフ等で表示し、分かりやすく見える化するものです。
- 本事業においては、地方創生の実現を支援するため、地方公共団体をはじめ教育機関、民間企業、住民等に対してRESASの普及・活用を推進します。
- 具体的には、①内閣府及び関係省庁の地方局等に活用支援業務を補佐できる政策調査員の配置、②地方公共団体職員等向けの研修、政策立案ワークショップ、地方創生施策のアイデアを募集するコンテストの開催等を通じたRESASの普及促進を実施します。

## 事業イメージ・具体例

### 地域経済分析システム（RESAS：リーサス）

- RESASを活用し、現在及び将来の人口構成、産業構造、観光地における人の流れ、各種指標の地方公共団体間の比較等を行います。
- 各地方公共団体によるデータに基づく地方版総合戦略の策定や、PDCAサイクルの確立等を支援します。



【人口マップ】

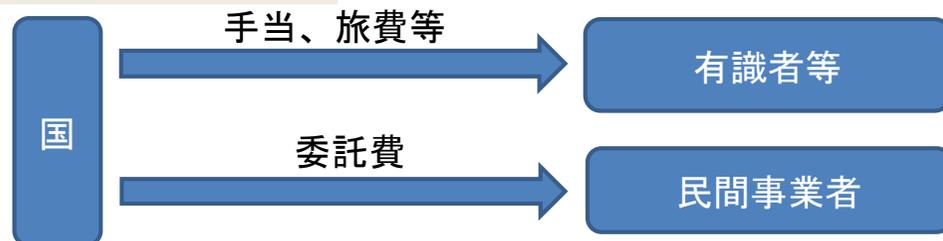
人口構成、推移、転入転出などを地域ごとに比較しながら把握可能



【産業構造マップ】

売上や雇用で地域を支える産業を把握可能

## 資金の流れ



## 期待される効果

- 地方公共団体等が、データに基づき地域の現状や課題を把握することにより、効率的かつ効果的な政策の立案・改善を行うPDCAサイクルを確立することが期待されます。

地域経済の見える化システム開発による地域再活性化支援事業（内閣府地方創生推進室）  
 令和2年度第1次補正予算額 7.59億円  
 感染症が地域経済に与える影響を可視化するV-RESASによる情報支援事業（内閣府地方創生推進室）  
 令和2年度第3次補正予算額 6.5億円

事業概要・目的

- 感染症が地域経済に与える影響をリアルタイムに近い形で可視化するためV-RESASを運用し、国や地方公共団体、金融機関、商工団体等が感染症対策を効果的・効率的に行うために情報面から支援する。

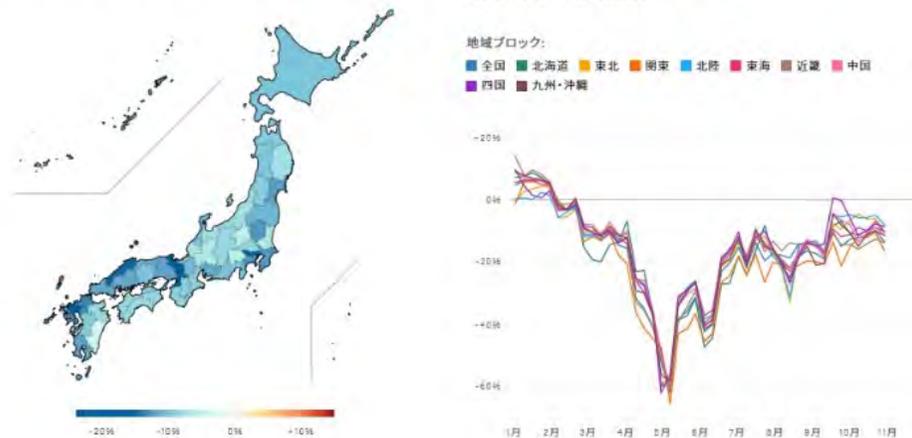
2020年10月26日～11月1日の前年同週比

地域ブロックごとの前年同週比の推移

2019年12月30日～2020年11月1日

地域ブロック:

■ 全国 ■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 ■ 北陸 ■ 東海 ■ 近畿 ■ 中国  
 ■ 四国 ■ 九州・沖縄



▲ 「V-RESAS」の操作画面

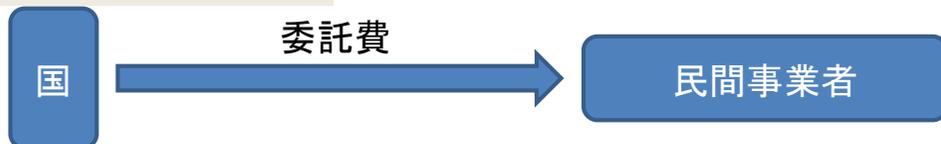
事業イメージ・具体例

- 感染症が地域経済に与える影響を可視化する「V-RESAS」を引き続き提供するとともに、地方公共団体等での普及のための取組を実施することで、地方公共団体等での「V-RESAS」の活用を促進します。

データ項目例

| データ項目                        | 地域単位         | 時間単位      |
|------------------------------|--------------|-----------|
| 人の流れ<br>(人の動きの活発度)           | 都道府県/<br>地点  | 週次        |
| 飲食店<br>(グルメサイトの閲覧状況)         | 都道府県/<br>エリア | 週次        |
| 決済データ<br>(クレジットカード利用等での消費支出) | 都道府県         | 半月次       |
| 宿泊施設<br>(ホテル・旅館の予約の状況)       | 都道府県/<br>エリア | 月次/<br>週次 |

資金の流れ



期待される効果

- 地方公共団体等が感染症対策を検討するに当たり、リアルタイムに近い形で地域経済に関するデータを分析することで、効果的・効率的な施策の立案が可能となります。

# 有識者の方々の招聘

- 産業、人口、観光、農業など各分野において高度な知識、経験を有する有識者を招聘させていただきます。

【令和2年度有識者派遣実績】

## ○政策立案ワークショップ

山形県天童市

東京大学大学院 教授 松原 宏

## ○地方公共団体向けRESAS研修

滋賀県

コードフォージャパン 東 健二郎

岩手県北上市

(一社) 全国太陽光発電等推進協議会理事  
赤川 彰彦

## ○データ分析セミナー（オンライン）

※講師として登壇

糸島市役所

岡 祐輔

JNTO

小松原 早貴

統計家

西内 啓

都市再生機構

赤星 健太郎

(株)Publink

梶井 誠一郎

日本商工会議所まちづくりタスクフォース委員

鵜殿 裕

【令和元年度有識者派遣実績】

## ○政策立案ワークショップ

鹿児島県指宿市

(公社) 日本交通公社 山田 雄一 他2名

鳥取市米子市

青山社中株式会社 朝比奈 一郎 他1名

新潟県上越市

(一財) 新潟経済社会リサーチセンター  
尾島 進 他2名

岩手県久慈市

(一社) 全国太陽光発電等推進協議会理事  
赤川 彰彦 他2名

愛知県蒲郡市

中央大学 名誉教授 細野 助博 他1名

北海道千歳市

中央大学 名誉教授 細野 助博

# 専門人材の配置

- 各地の経済産業局等にRESAS等の活用支援業務についての専門人材を配置。
- RESAS等の操作方法、活用方法について地方公共団体等に説明。



## RESAS普及のための説明会等の開催実績

|        |      |
|--------|------|
| 令和2年度  | 145回 |
| 令和元年度  | 270回 |
| 平成30年度 | 289回 |

| 令和2年度配置状況  | 計 18人 |
|------------|-------|
| 北海道経済産業局   | 2人    |
| 東北経済産業局    | 3人    |
| 関東経済産業局    | 2人    |
| 中部経済産業局    | 2人    |
| 近畿経済産業局    | 2人    |
| 中国経済産業局    | 1人    |
| 四国経済産業局    | 2人    |
| 九州経済産業局    | 2人    |
| 内閣府沖縄総合事務局 | 2人    |

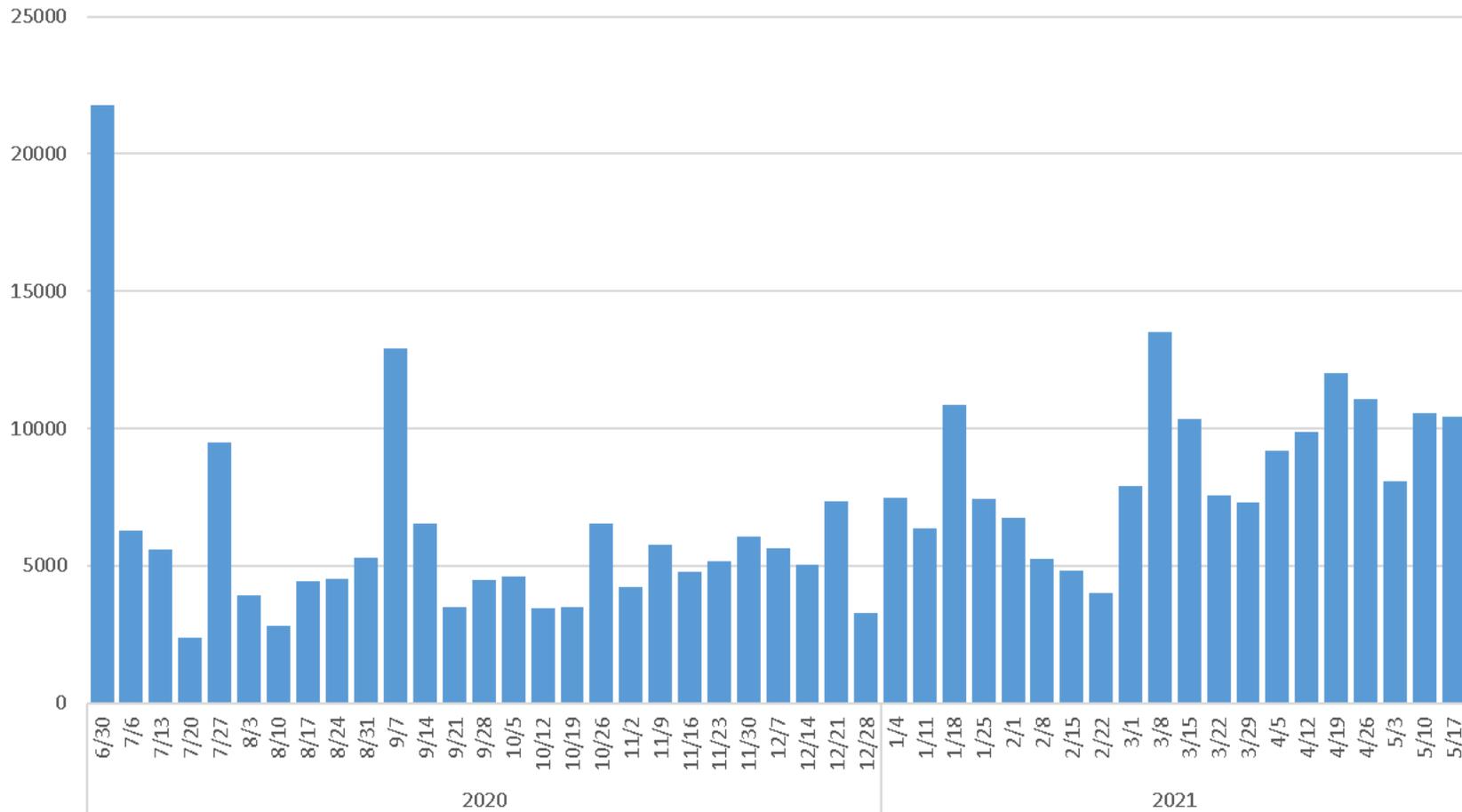
- **新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響を可視化**、地方公共団体の政策立案や金融機関、商工団体の中小企業支援をサポート。令和2年6月運用開始。
- 経済の足下の状況を把握すべく、**1週間おきにデータを更新、速報性を重視**。地域経済の健康状態 Vital Signs of Economyを把握可能。
- PCのみならず、タブレット・スマホからでも閲覧可能。 <https://v-resas.go.jp>



| データ項目                                | 地域単位     | 時間単位  | データ提供企業                   |
|--------------------------------------|----------|-------|---------------------------|
| 移動人口の動向（人の動きの活発度）                    | 都道府県／地点  | 週次／日次 | 株式会社Agoop                 |
| 決済データから見る消費動向<br>（クレジットカード利用等での消費支出） | 都道府県     | 半月次   | 株式会社ジェーシービー<br>株式会社ナウキャスト |
| POSで見る売上高動向<br>（主にスーパーマーケットでの消費支出）   | 都道府県     | 週次    | 株式会社日本経済新聞社<br>株式会社ナウキャスト |
| 飲食店情報の閲覧数<br>（グルメサイトの閲覧状況）           | 都道府県／エリア | 週次    | Retty株式会社                 |
| 宿泊者数（ホテル・旅館の宿泊者数の状況）                 | 都道府県／エリア | 月次／週次 | 観光予報プラットフォーム推進協議会         |
| イベントチケット販売数<br>（イベント開催やチケット予約の状況）    | 都道府県     | 月次    | ぴあ株式会社                    |
| キーワードの検索人数（検索の状況）                    | 都道府県     | 週次    | ヤフー株式会社<br>（※更新停止）        |
| 求人情報数（求人サイトの求人状況）                    | 都道府県     | 週次    | 株式会社フロッグ                  |
| 企業の財務状況の動向<br>（会計アプリで見た企業の財務状況）      | 全国       | 月次    | freee株式会社                 |

- V-RESASは、令和2年6月のサービス開始から、着実に利用されている。

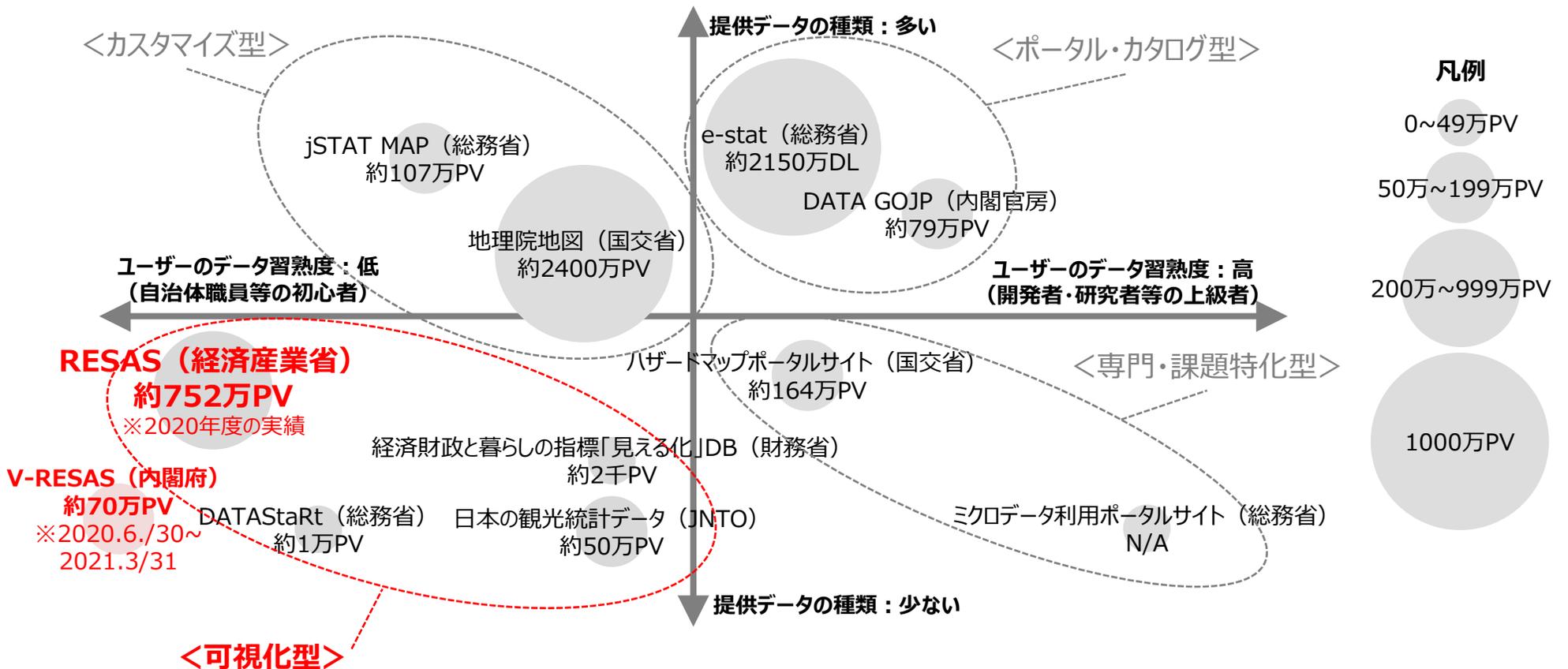
### <V-RESASのユニークユーザー数>



備考：各週毎のユニークユーザー数。  
資料：内閣官房により作成。

- 政府が提供する主要なデータ利活用支援ツールを、ユーザーの熟度と提供データの多寡に応じて整理。

## <各ツールの位置づけ>



資料：内閣官房「地方公共団体のデータ利活用に関する調査（令和2年3月）」を基に、一部追記して作成。

## 2. 活用例

- 地方版総合計画の策定や政策判断など、身近なツールとして多くの自治体で活用されている。

### 1. 具体的な活用イメージ（計画策定）

- 人口問題

～人口減少に大きな影響を与えているのは、自然減なのか社会減なのかを把握。次いで、社会減の場合はどの年齢層が流出しているのかを分析し、仮説検証（例：30代の流出超過→子育て支援に課題あり、60代以上の転出超過→介護施設不足等）。

また、主たる転出先を把握し、その要因を考えることで転出抑制策を総合計画に織り込む。

- 産業構造

～事業者数や付加価値額を把握し、町内の中小企業の労働生産性の低さの解決に向けた対策を総合計画に織り込む。

### 2. 具体的な取組イメージ（政策判断）

- コロナ支援策を継続的に行ってきたが、感染拡大の収束の目途がつかず、自治体財政の悪化が懸念される。継続的な多くの業種への支援はできないことから、今後は特化係数等で真に自治体の基幹産業と呼べる産業への支援に切り替え。

※完成した総合計画や政策判断の結果を見ただけでは分からないが、その策定段階では身近な分析ツールとして大いに活用されている。

# 国の支援制度におけるV-RESASの活用事例（一時支援金）

- 「**緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金**」制度では、令和2年1月の緊急事態宣言で売上が半減した中小法人に60万円、個人事業者に30万円を上限に支給。
- **支援金を受けるための保存書類の作成例としてV-RESAS「人の移動」のデータが活用されている。**具体的には、宣言対象外の地域の旅行関連事業者は、所在地域に来る旅行客の5割以上が宣言地域内から来訪していることを確認する必要があり、事例としてV-RESASのデータの取得手法を紹介。

## 2-4. 宣言地域外で特に外出自粛の影響を受けている地域の分析方法例④

**イメージ**

沖縄県の都道府県を跨いだ移動

このグラフは、当該エリアの現在している人口がどの都道府県から来たか、また、当該エリアに居住している人口がどの都道府県に行ったかを、2019年の年平均の都道府県を跨いだ移動人口との比率（割合）で表しています。

都道府県を跨いだ移動の最新上位10都道府県  
2019年12月30日～2021年2月14日

エリア

都道府県外からエリアへの移動
  エリアから都道府県外への移動

最新上位10都道府県:  
 東京都  福岡県  神奈川県  大阪府  埼玉県  北海道  愛知県  宮城県  千葉県  兵庫県  その他

**手順**

- ① ページ中段の「**沖縄県の都道府県を跨いだ移動の「エリア」において、自社所在地の属するエリアを選択**する。
- (例) 沖縄県の「南部」へ行く場合、エリアのプルダウンメニューから「中部」を選択する
- ② 「エリア」の下の選択肢について、**「エリアへの移動」を選択**する。
- ③ 画面右下の**「ファイルダウンロード」**をクリックする。
- ④ 上記押下後にポップアップが表示されるので、**「CSVをダウンロード」**のボタンをクリックする。

## 2-8. 宣言地域外で特に外出自粛の影響を受けている地域の分析方法例⑧

**イメージ**

**手順**

- ① 左図のとおり、D列に表示される**11都府県の構成比をすべて選択**する。
- ② 選択したセルの合計値を計算するため、Excelの「**数式」**タブを選択した上で、**「オートSUM」の「合計(S)」**をクリックする。

ダウンロードして分析

➔

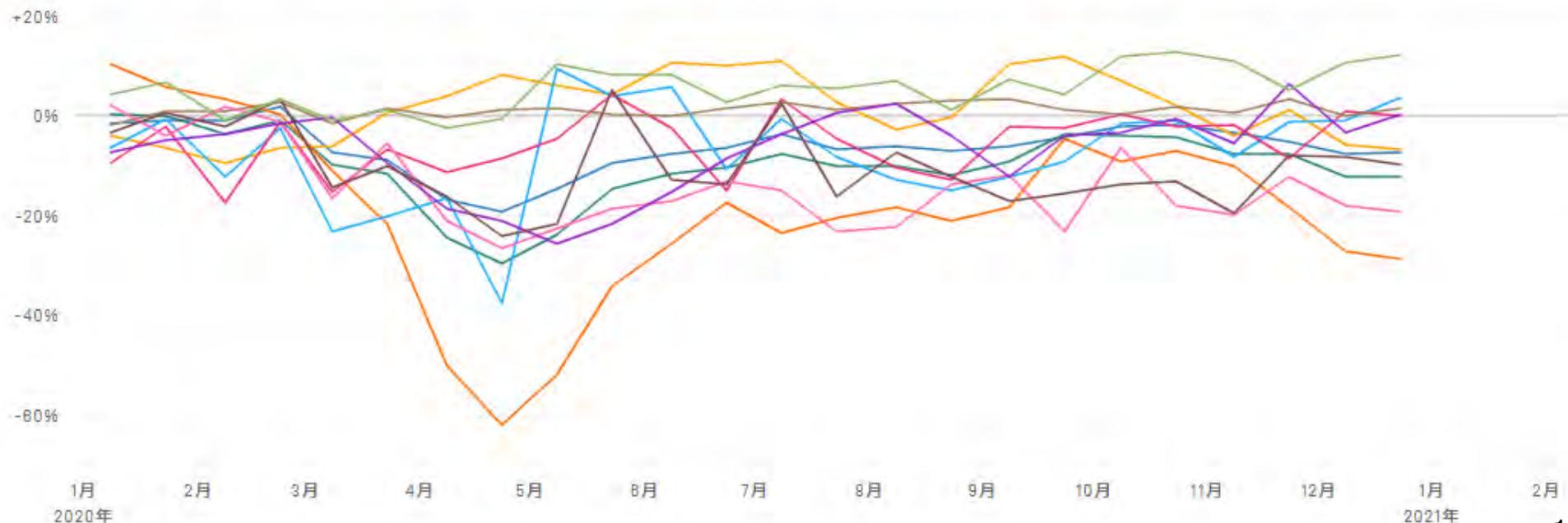
# 自治体におけるV-RESAS活用事例（埼玉県秩父市役所）

- 秩父市では市独自で実施する事業者向け支援制度の対象事業の検討に活用。
- 財源の関係から業種を絞ることを検討していたが、ほとんどの業種の消費が前年比で下がっていたことから、業種の制限をしないこととした。

## 決済データから見る消費動向（埼玉県のクレジットカード消費動向）

支出先の種別:

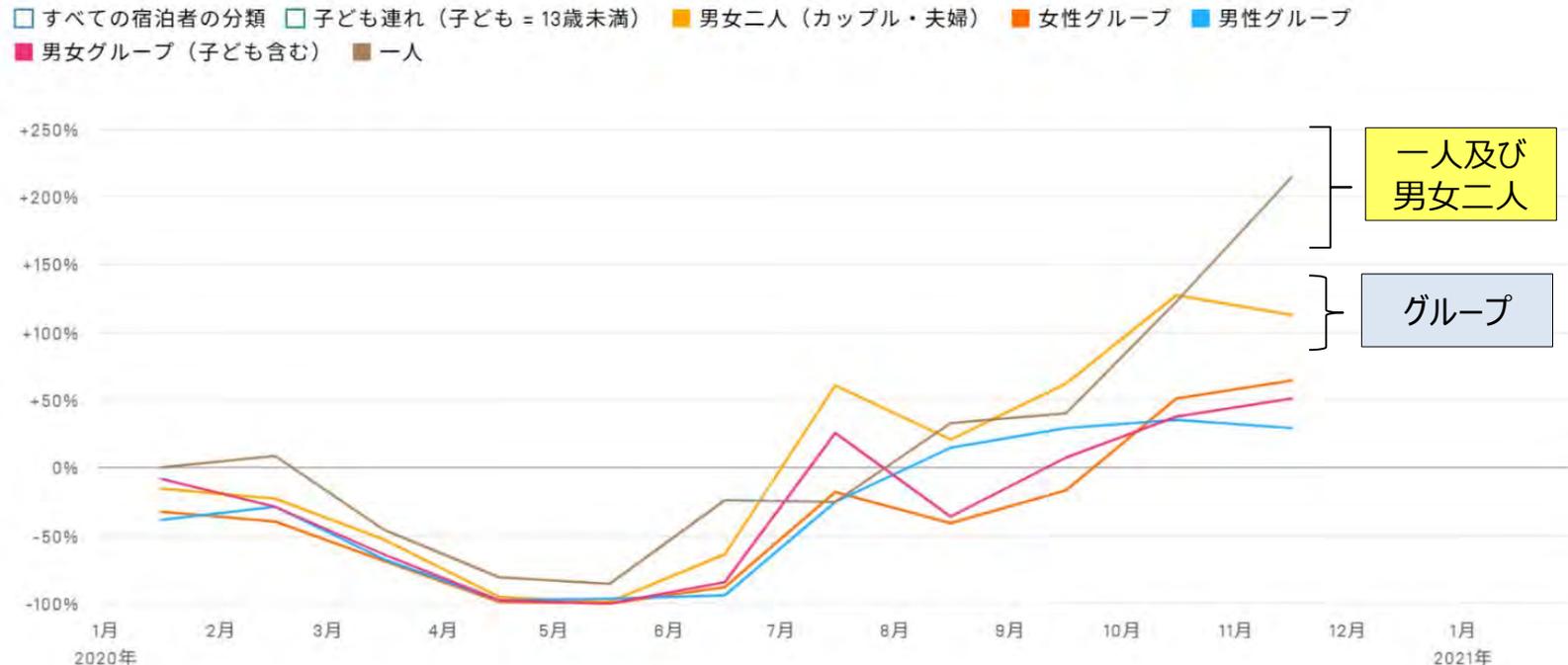
■ すべての業種 ■ すべてのサービス業 ■ 電気・ガス・熱供給・水道業 ■ 外食 ■ 旅行 ■ 医療 ■ 通信 ■ 交通 ■ 娯楽 ■ 宿泊 ■ コンテンツ配信



# 民間におけるV-RESAS活用事例（温泉観光地）

- コロナ時代における客層の変化を踏まえ、温泉観光地における販売商品の見直しに利用。
- 当該温泉地は団体観光客がメイン顧客であったが、コロナ感染拡大後は団体客が減少し、個人客や男女2人といった少人数での利用者が増加。
- 店主は肌感覚としてこの傾向を把握していたが、V-RESAS上からもそれが裏付けられることを確認。団体客向けであった商品ラインナップを、個人客向けのラインナップに変更した。

## 宿泊者の分類の令和元年同月比の推移



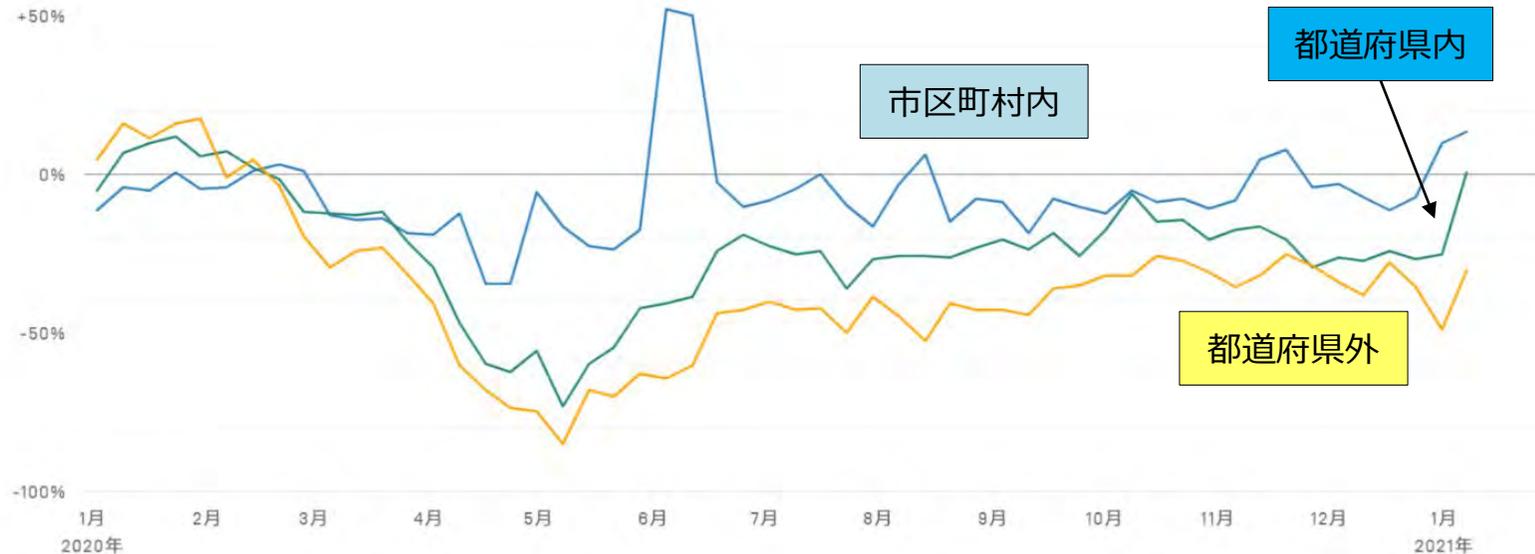
# 民間におけるV-RESAS活用事例（駅前商店街）

- 人流データを売上予測等に活用。
- 令和2年春の緊急事態宣言発令後に客足が激減。立地する駅前の人流の増減と売上の増減（≒来客数の増減）が概ね一致している傾向を把握。
- 店主は売上予測や助成金申請の際の資料作成（エビデンスとして活用）に活用した。

## 滞在人口の動向 - 推定居住地ごとの2019年同週比の推移

滞在人口の推定居住地:

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



# 民間におけるV-RESAS活用事例（その他）

- 自治体のほか、商工団体や金融機関など民間でも活用されている。

## 主な活用例

### 【人の流れ】

- 顧客のターゲットを見直すなど、迅速な状況を把握するために活用。持続化補助金の申請時の根拠として活用するよう、顧客事業者に助言。（アルパーコンサルティング(株)）

### 【全般】

- 会員企業向け広報誌でV-RESASを取り上げたほか、商工会議所幹部職員への勉強会を実施し、経営判断に活用することを目指す。（日本商工会議所）
- 各地の地域金融機関の広報誌において、V-RESASを用いた分析を掲載。融資先事業者が経営判断に活用することを目指す。

### （参考）

- ・Nanto Monthly Report（一般財団法人南都経済研究所、南都銀行系）令和2年10月号掲載（14ページ）掲載
- ・調査ニュース（株道銀地域総合研究所、北海道銀行系）令和2年10月号（3ページ）掲載
- ・やまぐち経済月報（一般財団法人山口経済研究所、山口FG系）令和2年11月号（5ページ）掲載
- ・Economic View<No.32>（浜銀総合研究所、横浜銀行系）令和2年11月（8ページ）掲載
- ・(株)ちばぎん総研Business Letter（ちばぎん総研、千葉銀行系）令和2年11月（1ページ）掲載
- ・季刊多摩けいざい第94号（多摩信用金庫地域経済研究所）令和2年11月（1ページ）掲載
- ・筑波総研株式会社（筑波銀行系）経済レポート令和3年2月19日（4ページ）掲載
- ・ぐんま経済（群馬経済研究所、群馬銀行系）令和3年3月（1ページ）掲載

- RESASを活用して地域の状況を分析し、地域を元気にするアイデアを広く募集する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」を平成27年度から毎年開催。
- 令和2年度の応募総数 **過去最多1,307件**。視聴者数 **過去最多18,115人**。
- 昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、初のリモート開催。**全国50カ所以上の自宅・学校・職場から発表者・審査員が中継をつないで参加**。

【応募総数】 令和元年度 1,115件 平成30年度 832件 平成29年度 975件 平成28年度 699件

## 地方創生担当大臣賞の受賞チーム

【高校生・中学生以下の部】

タイトル：「水上のサイクルツーリズム」で名古屋の魅力をアップ！」

チーム名：名古屋市立北山中学校（分析地域：愛知県）

【大学生以上一般の部】

タイトル：空き家が繋ぐ人と未来

チーム名：古民家上手プロジェクトチーム（分析地域：島根県）

【地方公共団体の部】

タイトル：artのある街計画

チーム名：TOMOSHIBI（分析地域：鹿児島県）

URL: <https://contest.resas-portal.go.jp/2020/>



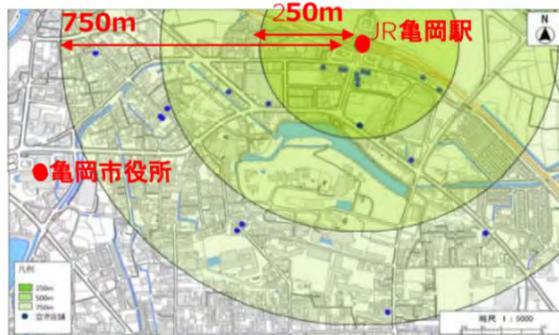
# アイデアコンテストでの活用の事例（京都府亀岡市役所）

- 京都府亀岡市では、RESASでの分析に基づき、アイデアコンテストに応募。地域住民の人流動向を分析した結果、ロードサイドに比べて市の中心部（駅前）の流動人口が少ないことが判明。
- そのため、亀岡城跡を中心とした城下町エリアを中心に亀岡市ならではのコトとモノを掛け合わせたマーケットを開催。

亀岡市の流動人口メッシュ（RESAS）



市の中心部における空き店舗の状況



KIRIマルシェの様子 ～地域経済×アート～



- ・地域の木材や土等から手作りされたクラフト品



- ・地域をめぐり自分だけの本を創るワークショップ



- ・地域の食材で仕立てた料理やお菓子、保存食

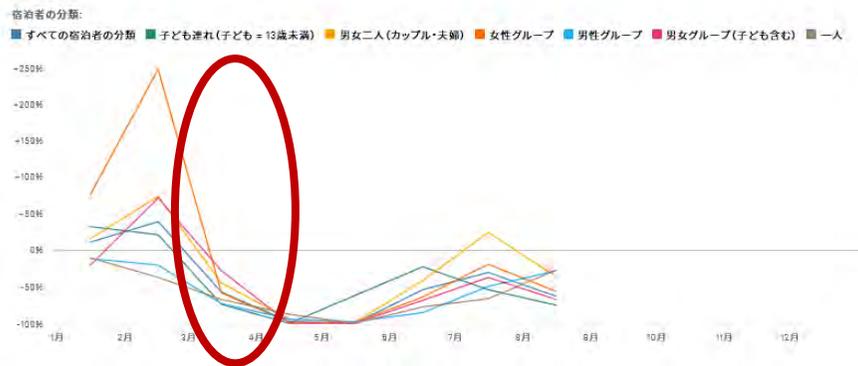


- ・食やものづくりと一緒に楽しめるライブ空間

# アイデアコンテストでの活用の事例（長野県諏訪市役所）

- 長野県諏訪市では、V-RESASでの分析に基づき、アイデアコンテストに応募。これまで名産の日本酒を活かした観光イベントを開催していたが、コロナ禍で中止が相次ぎ地域の宿泊・飲食客数が大幅に減少。
- インバウンド需要も当面の間期待が薄く、ターゲットを変更しおうち時間を楽しめる利き酒セットやPR動画を公開。

諏訪地域への宿泊者数（2019年同月比）



「諏訪9蔵おうちで利き酒セット」と利き酒レクチャー動画で新たな需要の掘り起こしを図る



諏訪・南信地域の飲食店ホームページ閲覧数（2019年同週比）



（資料）観光予報プラットフォーム推進協議会（事務局：日本観光振興協会）、Retty株式会社「Food Data Platform」

# アイデアコン実現支援

- アイデアコンテスト入賞作品の実現化に向け、各種支援を行う。

## <概要>

➤ アイデアコン入賞作品に対し、有識者による助言、及び実現のための実行支援（動画作成など）を行った。

○実現のための実行支援（動画の作成）

【令和元年度】

女子高生がもち麦で加東市に革命をおこしちゃう話（兵庫県立社高等学校）

地域とともにある学校 園芸療法で加古川市をささえる高校生の力

（兵庫県立農業高等学校）

【令和2年度】

もったいないをなくそう！未利用魚消費大作戦！（長岡工業高等専門学校）

みんなを笑顔に！離れていても、集まろう！

（加登屋酒店&しんきん地方創生サポーターズ）

○有識者助言の成果物は今後掲載予定。

※成果物については地方創生の下記ホームページに掲載。

[https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/idea\\_contest.html](https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/idea_contest.html)



● 地方公共団体における、**データに基づく施策の立案**を促進するとともに、関係者との**コンセンサス形成のきっかけ**に活用。

<概要>

➤ 目的

・地方公共団体や地域の関係者がRESASによる分析を行うとともに、分析のみに留めず、具体的な施策の立案及び取組の実施につなげる。

➤ 過去実績

【平成30年度】

- 第1回 広島県東広島市  
テーマ：知的資源の活用による、新たな産業施策の立案について
  - 第2回 沖縄県沖縄市  
テーマ：「東部海浜地区における観光地戦略」について
  - 第3回 岡山県津山市  
テーマ：地域産業の付加価値創造～イノベーションの促進と生産性向上～
- 等 計 10 回

【令和元年度】

- 第1回 鹿児島県指宿市  
テーマ：観光消費額を増やすための観光客の周遊・滞在時間延長に係る施策について
  - 第2回 鳥取県米子市  
テーマ：インバウンド誘客に向けた新たな観光戦略の創出
  - 第3回 新潟県上越市  
テーマ：地域製造業基盤強化を通じた域内経済の活性化について
- 等 計 6 回

【令和2年度】

- 第1回 山形県天童市  
テーマ：ポスト製造業に向けた新たな産業政策について
- 計 1 回

# 自治体におけるワークショップの事例（新潟県上越市）

- 内閣官房・内閣府・経済産業省・関東経済産業局が連携し、RESASを活用した政策立案ワークショップを開催（令和元年11月）。地域・企業分析を実施した結果、市内の企業支援の体制拡充につながった。

## 1. 課題

- 人口の自然減と社会減が同時進行。学生の進学や就職で市外への転出が超過。
- 地元企業が若者の働く場として定着しておらず、「安定的で魅力のある雇用の創出」が大きな課題。

## 2. RESAS分析による気付き

- 上越市における付加価値額、雇用創出において「**製造業**」が高い割合を占めており、特に**化学工業**をはじめとした5業種は全国と比較しても特化。他業種の製造業においても労働生産性等の改善による伸びしろが期待。
- 加えて、上越市独自の分析で市内の大企業・中小企業の事業構造で**大企業と市内の他企業との取引関係が希薄**であることが判明。



<ワークショップの様子>

## 3. 具体的な取組例

- 上越市は、産官学金で構成された「**地域中核企業成長促進協議会**」を設立（令和元年9月）。地域内取引や雇用の拡大による人材確保に向けた**支援施策や体制等の検討**を実施。
- 関東経産局が**地域未来投資促進法基本計画の策定**や**地方創生推進交付金獲得**を支援。
- 令和2年度には、**企業による提案型モデル支援事業**や**生産性向上支援事業等の中核企業への支援**を実施するとともに**中小企業への支援機関体制を構築**。

# 自治体におけるワークショップの事例（鳥取県米子市）

- 当初、米子空港へ中国からの直行便就航に向け、インバウンド戦略を考える**政策立案ワークショップ**を開催（令和元年10月）。
- コロナ感染拡大に伴い、市内皆生温泉における観光戦略練り直しに方針転換し、中長期ビジョンの策定・実行組織を組成し、利用客減少の悪循環解消を目指した取り組みを開始。

## 1. 課題

- 鳥取県全体の観光客数は増加基調にあるが、皆生温泉の観光入込客数は直近20年で3割減少。
- 8月（海水浴）・11月（松葉ガニ解禁）に観光客が集中するも、年間を通じ減少傾向。
- 団体観光客の減少傾向にあるが、個人観光客の増加に結び付いていない。

## 2. RESAS分析等による気づき

- もともと外国人観光客の割合は低く、コロナによる外国人観光客激減のインパクトは大きくない。県内・近隣各県の利用客が主とみられ、これら地域の個人客の増加により活気が取り戻せるのではないか。
- アンケート結果を分析すると、皆生温泉街に観光・グルメ・ショッピング等街歩きを楽しめる場所がないことが課題（寂れた海岸や空き店舗があると同時に歓楽街が目立ち、個人旅行が楽しめる雰囲気ではない）。

## 3. 具体的な取組例

- **皆生温泉を継続的目つ自立して進行させていくことをミッションに、皆生温泉振興組織を立ち上げ、彼らが温泉全体のビジョンの計画実行策定・実行・ソーシャルマーケティングを担う。**
- 次いで、コンテンツの課題解消に向けた店舗誘致やライトアップなどの各種施策を行う。**地方創生推進交付金を獲得**しており、これら初期立ち上げに充当、早期の自立を図る。

- 地方公共団体における、**データに基づき施策立案できる職員の育成支援**が目的。地方公共団体職員等を対象にデータ活用の重要性を理解していただき、将来的にEBPMを実践できる人材の育成を支援。

### <概要>

#### ➤ 目的

地方公共団体職員等に対して、地域経済分析システム（RESAS）やV-RESAS等のデータを活用し、地域をデータで分析するスキルの習得を目指す。

#### ➤ 研修内容

RESAS及びV-RESASの分析手法、活用事例等について、座学形式で説明の他、グループワークも実施。

#### ➤ 派遣する講師

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局職員  
経済産業局職員

（全国9局にRESAS業務に従事する政策調査員を配置）

RESAS専門委員（有識者等）



# RESAS de 地域探究

- RESAS副教材の認知の拡大、実践校の指定による幅広い実践事例の創出、先生方のご意見を取り入れた副教材の改善を目的に、3段構えの普及イベント「RESAS de 地域探究」を開催。
- 今後、教員間でRESAS及びRESAS副教材を知っていただき、RESASを活用する教員等の間でコミュニティが形成されることを目指す。

## 【RESAS de 地域探究実践校】



- 小学校～高等学校や民間の教育機関から、RESAS副教材を実際の授業で活用する学校を募集、全国46校を指定。

## 【第1弾 RESAS de 地域探究フォーラム】

- 令和2年7～8月に開催済。当日の様子は動画掲載済。
- RESAS副教材の認知拡大が目的。
- 有識者の基調講演や、RESAS副教材作成に携われた先生方からの説明を行い、副教材の内容を周知。

## 【第2弾 探Q！RESAS（成果発表会）】

- 令和2年11月頃に10回程度オンラインで開催済。
- RESAS副教材を使った授業のノウハウ共有や、新型コロナで活動の場を失った生徒への対外発表の機会の提供、地域コミュニティの創出が目的。
- RESAS副教材を使った授業の実践事例について、**教員や生徒から発表**する。また、地域の商工団体や企業にも参加を呼び掛ける。

## 【第3弾 RESAS de 地域探究シンポジウム】令和3年2月21日(日) 13:00～16:30

- 文科省総括官 合田氏、ライフイズテック讃井氏、広島県教育長 平川氏、大正大学教授 浦崎氏の講演。
- <https://tanq.resas-portal.go.jp/sympo/app/index.html>

# RESAS for Teachers

- 令和2年3月、教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開するため、高校等向けに8種の授業モデル（RESAS副教材）を、「RESAS for Teachers」で公開。
- RESAS副教材の周知と教員間のコミュニティ形成により、自律的な地域人材の育成の発展を目指す、「RESAS de 地域探究」を実施。

## ○ RESAS副教材 概要

### ➤ 目的

「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（歴史地理編）」にRESASが盛り込まれたことを背景に、教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開し、データを通じた探究学習の普及及び地域人材の育成の強化を目指す。

### ➤ 教科／科目

「地理総合」、「商業（観光ビジネス）」、「国語」、「情報」、「総合的な探究の時間」

### ➤ モデル授業案概要

- 学習指導案  
指導計画、本時の学習など（学習活動・内容、指導上の留意点、教材・資料について記載）
- 授業用スライド、ワークシート
- 実践事例

RESAS for Teachers <https://teacher.resas-portal.go.jp/>

RESAS de 地域探究 <https://tanq.resas-portal.go.jp/>

## RESAS 副教材 検討委員

学校法人札幌慈恵学園 札幌新陽高等学校

高石大道

学校法人品川女子学院

河合豊明

長野県松本県ヶ丘高等学校

中谷幸裕

金沢大学附属高等学校

岡かなえ

学校法人聖心学園 聖心学園中等教育学校

吉澤陽

岡山県立倉敷商業高等学校

川崎好美

徳島県立脇町高等学校

大久保邦博

学校法人川島学園 れいめい中学校・高等学校

上門大介



授業モデルを作成した先生たちに聞く  
RESASの魅力とは？



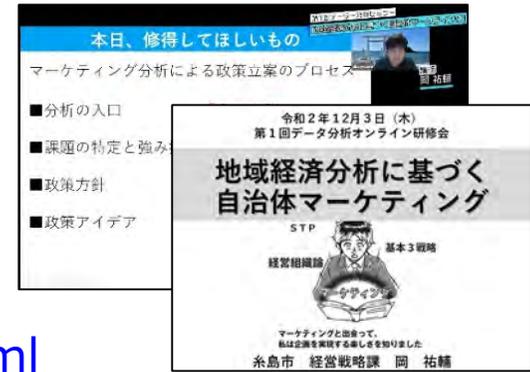
## ● 目的

RESAS等を活用したデータ利活用スキル向上の支援を目的とする。

## ● 事業内容

毎月有識者を招き、オンラインセミナーを実施。  
セミナー終了後、動画と資料をHPで公開している。

<https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/dataseminar.html>



|     | 開催日           | テーマ                                | 講師   |
|-----|---------------|------------------------------------|--|
| 第1回 | 令和2年<br>12月3日 | 地域経済分析に基づく自治体マーケティング               | 糸島市役所 岡祐輔氏                                   |
| 第2回 | 令和3年<br>1月19日 | コロナ下で、あえてインバウンド観光について考える           | JNTO 小松原早貴氏                                  |
| 第3回 | 2月10日         | いま、地方創生にV-RESASが必要な理由              | 統計家 西内啓氏                                     |
| 第4回 | 2月24日         | まちづくりのために都市を「見える化」しよう              | 都市再生機構 赤星健太郎氏                                |
| 第5回 | 3月10日         | ビジネスシーンでのRESAS活用                   | (株)Publink 梶井誠一郎氏、日本商工会議所まちづくりタスクフォース委員 鶴殿裕氏 |
| 第6回 | 4月13日         | まちづくりにデータを活用しよう                    | (株)まちづくり松山 加戸慎太郎氏                            |
| 第7回 | 4月27日         | 元副市長が教えるRESAS分析術<br>～京都府亀岡市にいた2年間～ | 元亀岡市副市長 仲山徳音氏                                |
| 第8回 | 5月19日         | 自治体初CDOが推進するデータ利活用モデル              | 神奈川県庁 齊藤源一郎氏                                 |

**(附属資料)**

- 地域経済を活性化する上で、**地域の現状・実態の正確な把握**が必要不可欠。
- このため、地域経済に関連する様々な**ビッグデータを「見える化」するシステム（RESAS）を構築**し、地方創生版・三本の矢の「情報支援」として、平成27年4月より提供。
- 地域のデータ分析の「入り口」として、**初心者でも簡単に使えるシステムを実現**。各自治体が「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPIを設定する際など、**地域政策の現場で幅広く活用**。

## 地域経済分析システム（RESAS）マップ一覧

### ①人口マップ



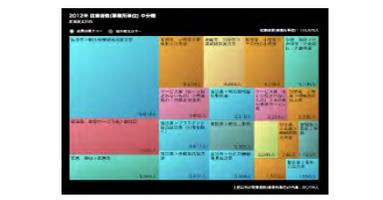
人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出等が地域ごとに比較しながら把握可能

### ②地域経済循環マップ



自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能

### ③産業構造マップ



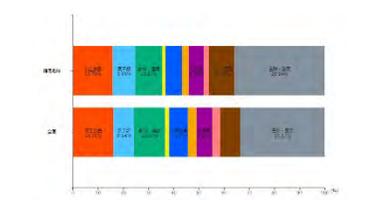
地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能

### ④企業活動マップ



地域の創業比率や黒字赤字企業比率、特許情報等が把握可能

### ⑤消費マップ



POSデータによる消費の傾向や外国人の消費構造が把握可能

### ⑥観光マップ



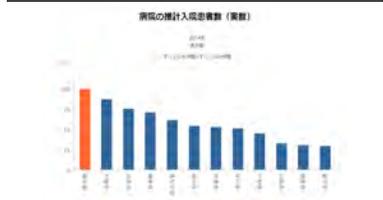
国・地域別外国人の滞在状況等のインバウンド動向や、宿泊者の動向等が把握可能

### ⑦まちづくりマップ



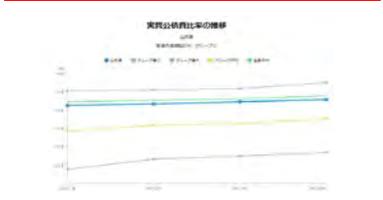
人の流動や事業所立地動向、不動産取引状況など、まちづくり関係の情報把握可能

### ⑧医療・福祉マップ



地域の雇用や医療・介護について、需要面や供給面からの把握が可能

### ⑨地方財政マップ



各自治体の財政状況が把握可能

### 総メニュー数の推移

| <スタート時>            | <現在>                |
|--------------------|---------------------|
| 25メニュー<br>(平成27年)  | 約80メニュー<br>(令和3年3月) |
| 358万PV<br>(平成27年度) | 752万PV<br>(令和2年度)   |
| ※現在公開中のメニュー数       |                     |

# RESASにおけるデータ・機能の拡充

- 地域の魅力ある資源をデータ化し、地方創生・地域経済活性化を情報面から支援すべく**データを拡充**。
- データ分析の「入り口」として誰もが簡単に使えるよう**操作性を高めるための機能を拡充**。

## 2015年～ RESASリリース

### <地域経済が見える化>

- 地方創生版・三本の矢の「情報支援」として、2015年4月にリリース。（まち・ひと・しごと創生総合戦略2015改訂版）
- 4マップ25メニューから提供開始
  - 産業マップ
  - 観光マップ
  - 人口マップ
  - 自治体比較マップ

## 2016～2018年 マップ・メニューの拡充

### <新設5マップ>

- 地域経済循環マップ
  - 地域経済循環図など
- 企業活動マップ
  - 海外取引・研究開発など
- まちづくりマップ
  - 建物利用状況など
- 雇用/医療・福祉マップ
  - 医療・介護需給など
- 地方財政マップ
  - 自治体財政状況の比較など

※リリース当初の「観光マップ」のまちづくりに関するメニューが「まちづくりマップ」へ派生。

※「自治体比較マップ」が「産業構造マップ」、「企業活動マップ」、「雇用/医療・福祉マップ」、「地方財政マップ」へ派生。

※産業構造マップは一次産業を拡充。

※観光マップはインバウンド分析を拡充

## 2019年～ 利用支援機能搭載

### <新設3機能>

- サマリー機能
  - 地方公共団体単位でサマリーを表示。
- データ分析支援機能
  - 分析テーマに沿った代表的な分析画面を抽出。
- チャットボット機能
  - RESASの使い方や用語について、簡易に検索。

# 地域経済分析システム (RESAS) マップ一覧

## 1. 人口マップ

- 1-1. 人口構成
- 1-2. 人口増減
- 1-3. 人口の自然増減
- 1-4. 人口の社会増減
- 1-5. 新卒者就職・進学
- 1-6. 将来人口推計
- 1-7. 人口メッシュ
- 1-8. 将来人口メッシュ

## 2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析

## 3. 産業構造マップ

### <全産業>

- 3-1-1. 全産業の構造
- 3-1-2. 稼働力分析
- 3-1-3. 企業数
- 3-1-4. 事業所数
- 3-1-5. 従業者数 (事業所単位)
- 3-1-6. 付加価値額 (企業単位)
- 3-1-7. 労働生産性 (企業単位)

### <製造業>

- 3-2-1. 製造業の構造
- 3-2-2. 製造業の比較
- 3-2-3. 製造品出荷額等

### <小売・卸売業>

- 3-3-1. 商業の構造
- 3-3-2. 商業の比較
- 3-3-3. 年間商品販売額

### <農業>

- 3-4-1. 農業の構造
- 3-4-2. 農業産出額
- 3-4-3. 農地分析
- 3-4-4. 農業者分析

### <林業>

- 3-5-1. 林業総収入
- 3-5-2. 山林分析
- 3-5-3. 林業者分析

### <水産業>

- 3-6-1. 海面漁獲物等販売金額
- 3-6-2. 海面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-3. 海面漁業者分析
- 3-6-4. 内水面漁獲物等販売金額
- 3-6-5. 内水面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-6. 内水面漁業者分析

### <雇用>

- 3-7-1. 一人当たり賃金
- 3-7-2. 有効求人倍率
- 3-7-3. 求人・求職者

## 4. 企業活動マップ

### <企業情報>

- 4-1-1. 産業間取引 (※提供停止)
- 4-1-2. 企業間取引 (※提供停止)
- 4-1-3. 表彰・補助金採択
- 4-1-4. 創業比率
- 4-1-5. 経営者平均年齢 (※提供停止)
- 4-1-6. 黒字赤字企業比率
- 4-1-7. 中小・小規模企業財務比較

### <海外取引>

- 4-2-1. 海外への企業進出動向
- 4-2-2. 輸出入取引
- 4-2-3. 企業の海外取引額分析

### <研究開発>

- 4-3-1. 研究開発費の比較
- 4-3-2. 特許分布図

## 5. 消費マップ

- 5-1. 消費の傾向 (POSデータ)
- 5-2. From-to分析 (POSデータ)
- 5-3. 外国人消費の比較 (クレジットカード)
- 5-4. 外国人消費の構造 (クレジットカード)
- 5-5. 外国人消費の比較 (免税取引)
- 5-6. 外国人消費の構造 (免税取引)
- 5-7. キャッシュレス加盟店数 (ポイント還元事業)
- 5-8. キャッシュレス決済データ (準備中)

## 6. 観光マップ

- 6-1. 目的地分析
- 6-2. From-to分析 (宿泊者)
- 6-3. 宿泊施設
- 6-4. 外国人訪問分析
- 6-5. 外国人滞在分析
- 6-6. 外国人メッシュ
- 6-7. 外国人入出国空港分析
- 6-8. 外国人移動相関分析

## 7. まちづくりマップ

- 7-1. From-to分析 (滞在人口)
- 7-2. 滞在人口率
- 7-3. 通勤通学人口
- 7-4. 流動人口メッシュ
- 7-5. 建物利用状況
- 7-6. 事業所立地動向
- 7-7. 不動産取引
- 7-8. 近距離移動時間分析
- 7-9. 国内移動時間分析 (準備中)

## 8. 医療・福祉マップ

- 8-1. 医療需給
- 8-2. 介護需給

## 9. 地方財政マップ

- 9-1. 自治体財政状況の比較
- 9-2. 一人当たり地方税
- 9-3. 一人当たり市町村民税法人分
- 9-4. 一人当たり固定資産税

### 凡例

赤字 : 2021年3月25日データ更新メニュー

青字 : 2021年2月12日データ再編メニュー

\*一部準備中のものあり\*



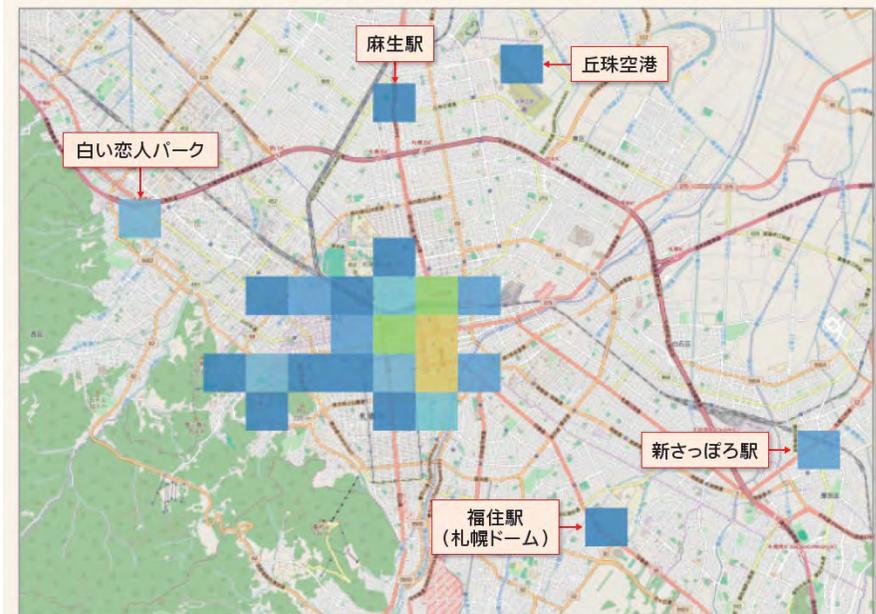
# 自治体におけるRESAS活用事例（北海道札幌市役所）

- 札幌市の外国人訪問者は台湾・中国・韓国・香港の割合が高く、台湾・中国・韓国・香港からの訪問者は夏期（7～9月）と冬季（1～3月）の繁忙期に多く、タイは春期（4～6月）と秋期（10～12月）の閑散期に訪問者数のピークがある。タイの観光客は閑散期の集客が見込める重要な顧客であることが分かった。また、札幌駅及び大通駅周辺3 km圏の滞在人口が最も多いことに加え、札幌市郊外にも5箇所ほど一定の滞在人口があることが分かった。
- 札幌駅周辺だけでなく、郊外にも観光案内サインの設置や多言語化の対応等、外国人受入環境の整備をすることとした。

■(第1-1-2図)観光マップ 外国人訪問分析 国籍別訪問者数の推移  
[2013年・2014年 北海道 観光・レジャー目的]



■(第1-1-3図)観光マップ 外国人メッシュ分析  
[2014年11月～2015年4月 北海道札幌市 ※1kmメッシュで表示]



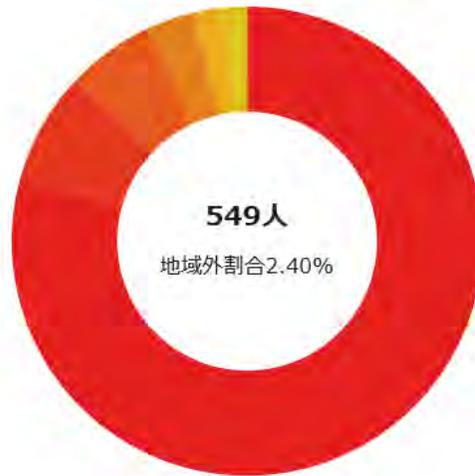
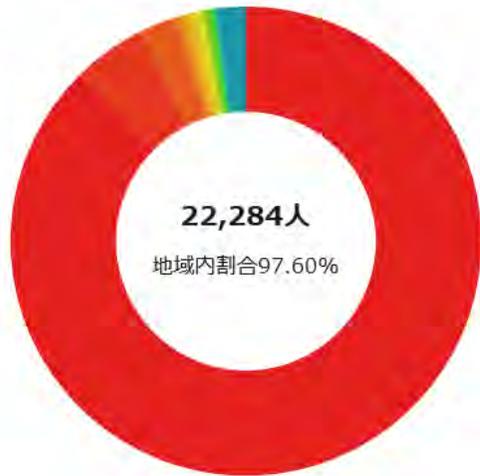
観光マップ>外国人メッシュ

(資料) 株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」

# 自治体におけるRESAS活用事例（福岡県うきは市役所）

- 福岡県南部のうきは市には温泉などがあり、もともと福岡市への観光PRを行っていたが、分析により想定よりも福岡市からの観光客は少ないことが判明。
- そのため、佐賀や大分を含む近隣地域と連携したPRに力を入れることにした。

うきは市の滞在人口（平成26年4月、14時） 県内／県外



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 福岡県うきは市 19,513人 (87.57%)
- 2位 福岡県久留米市 1,116人 (5.01%)
- 3位 福岡県朝倉市 553人 (2.48%)
- 4位 福岡県福岡市東区 121人 (0.54%)
- 5位 福岡県小郡市 117人 (0.53%)
- 6位 福岡県筑前町 107人 (0.48%)

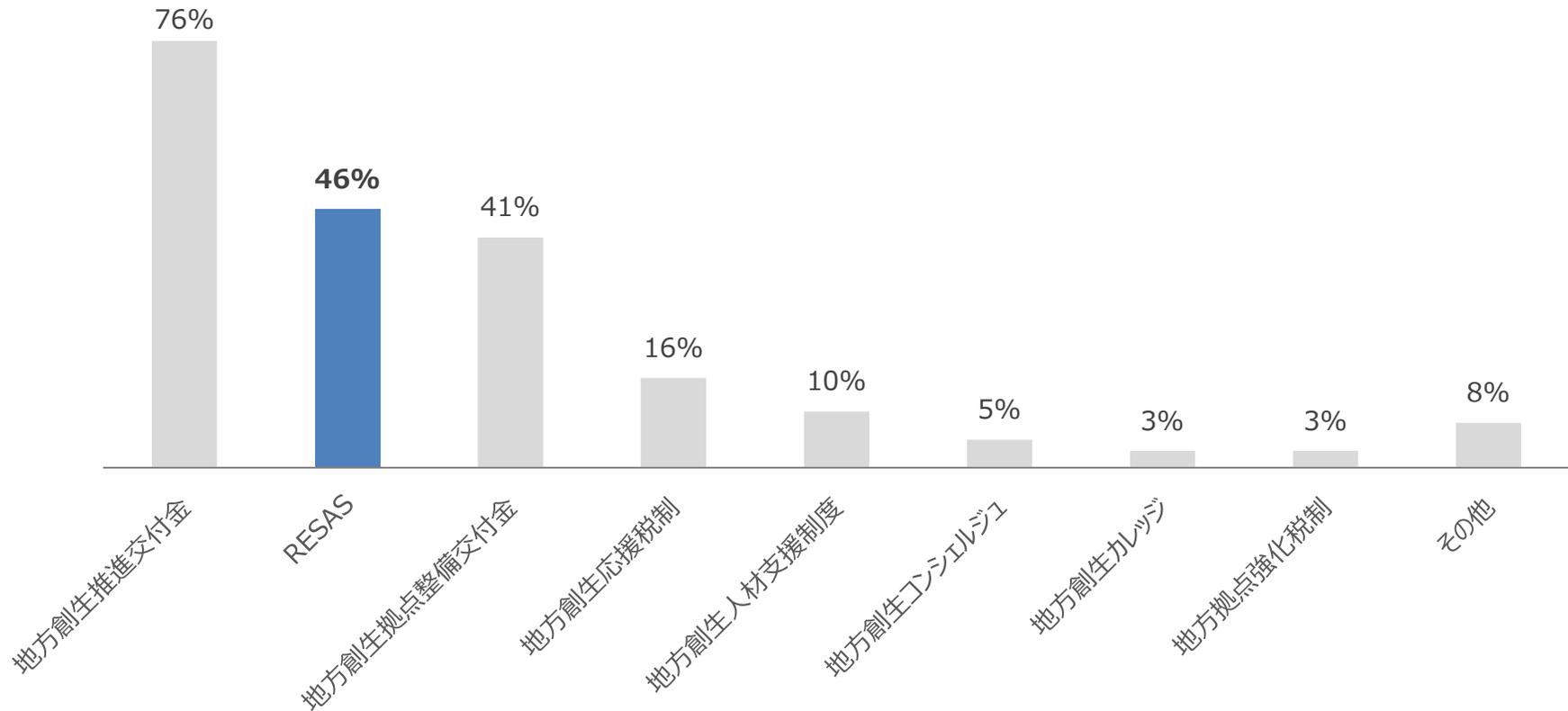
滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 大分県日田市 435人 (79.23%)
- 2位 佐賀県鳥栖市 42人 (7.65%)
- 3位 長崎県佐世保市 34人 (6.19%)
- 4位 大分県中津市 18人 (3.28%)
- 5位 大分県杵築市 10人 (1.82%)
- 6位 広島県広島市安佐南区 10人 (1.82%)



- 役に立ったと感じている国の地方創生関連施策として、「地方創生推進交付金」に次ぐ約46%の自治体がRESASを挙げている。

## 役に立ったと感じている国の地方創生関連施策



資料：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「地方版総合戦略等の進捗状況等に関する調査結果（H31.3.27）」